

第109回幹事会議事要旨

日時 平成22年10月21日(木) 13:30~14:00

場所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 金澤 一郎

(副会長) 大垣眞一郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾、小林 良彰、山本 眞鳥

(第二部) 山本 正幸

(第三部) 後藤 俊夫、永宮 正治

(事務局長) 竹林 義久

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、廣田 英樹、石原 祐志、渡部 良一

審議事項等

1 前回議事要旨等の確認が行われた。

2 諸報告事項として、唐木副会長から10月18日に行われたAASA(The Association of Academies of Sciences in Asia)創立10周年記念式典の報告、金澤会長から10月19日に行われた総合科学技術会議有識者議員と日本学術会議会長、副会長の意見交換会の報告があった。

3 審議事項について審議が行われた。

(1) 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員が決定された。

(2) 持続可能な長寿社会に資する学術コミュニティの構築委員会設置要綱の一部改正が決定された。

(3) 高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会の委員が決定された。

(4) 医師の専門職自律検討委員会の委員が決定された。

(5) 選考関係として、平成23年10月の会員及び連携会員の改選に係る基本的事項、日本学術会議の運営に関する内規の一部改正、定年により退任する会員の連携会員への就任についての一部改正、会員候補者・連携会員候補者の推薦書様式、補欠の会員候補者・補欠の連携会員候補者の推薦書様式の改正が決定された。

(6) 日本学術会議協力学術研究団体の指定が承認された。

(7) カンボジア学術機関等との打合せに係る会員の派遣が承認された。

(8) 10件のシンポジウム等の主催、3件の国内会議及び1件の国際会議の後援について承認された。

(9) その他事項として、次のことについて話し合われた。

・廣田参事官から平成22年4月及び5月に大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会が財団法人大学基準協会、独立行政法人大学評価・学位授与機構、財団法人日本高等教育評価機構と共催で開催した公開シンポジウムに関連して、4者で共同で「これからの大学教育の質保証について」を取りまとめ、今後、「これからの大学教育の質保証について」を各団体のホームページに掲載する旨説明があった。

・幹事会の日程について、平成23年5月26日開催予定の幹事会は、平成2

3年6月2日開催予定に変更になった。

4 非公開審議事項について審議が行われた。

- (1) 分野別委員会における分科会等の委員（特任連携会員等）等が決定された。
- (2) 持続可能な長寿社会に資する学術コミュニティーの構築委員会における分科会委員が決定された。
- (3) 自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会における小委員会委員が決定された。
- (4) コンセンサス・レポート「アジアの人口高齢化問題への対応：政策立案における科学的根拠の強化（仮訳）」について内容を承認するとともに、会長が署名することが承認された。
- (5) 事務局長から委員手当の執行状況について報告があった。